



一瞬にして大やけど・・・ 「着衣着火」にご注意を！！



寒い季節を迎え、ご家庭で暖房器具やカセットコンロの使用、また厚着をする機会が多くなってきます。「着衣着火」とは、着ている衣類に火が燃え移ってしまう火災をいいます。この火災は、普段の生活の中のちょっとした不注意で発生し、大やけどを負う可能性が高い大変恐ろしい火災です。

～着衣着火を防ぎましょう～

防災製品のエプロンなどを使う！！

ガスコンロの奥に物は置かない！！



コンロの火が鍋からはみ出ないように！！

袖、裾の広がり注意！！

お供え物は、ロウソクの火を消してから！！



厚着は、服に火が付いたことに気付くのが遅れるから注意！！



もし着衣着火してしまったら？！

すぐに水をかける！！



もし水がなければこんな消火方法も・・・

「ストップ！ドロップ！&ロール！（止まって、倒れて、転がって）」

①ストップ！（止まって）



②ドロップ！（おおれて）



③ロール！（ころがる）



※火傷を負ってしまった場合は流水で冷やしてください。救急車を呼ぶ必要がある場合はすぐに 119番通報して、到着するまでそのまま冷やし続けてください。

大切な家族や財産を守るため、住宅用火災警報器を設置しましょう。

『後にしよう その油断が 火事になる』

